

事例報告 H27-9

団体名： 極楽橋森林整備プロジェクト実行委員会

プログラム名： 「世界遺産・高野山」極楽橋の森人(もりんちゅ)		
(1) プログラムの目標	「世界遺産・高野山」の玄関口にふさわしい景観作りの大切さを知ること	
(2) プログラムの概要	イロハモミジの植樹スポットを数ブロックに分けて班分けをする 長カマの使い方を学習し、下草刈りを体験する 国有林の間伐材を使用した木材加工体験を実施する 「世界遺産・高野山」までの参詣道を歩く	
(3) プログラムの展開		
時間数	プログラムタイトル	
	活動内容	指導・支援の方法、ポイント等（教材等）
0.5	「世界遺産・高野山」極楽橋の森人(もりんちゅ)の実施準備	
	実施場所の説明 『極楽の森』の説明 作業上の注意 作業班分け	実施場所の説明をおこない、『極楽の森』について知ってもらう なぜ普通のカマではなく長カマを使用するのか、また、 なぜ白っぽい服装で作業するのかなどの意味を伝え、自然に向き合う心構えを学習する
1	森人(もりんちゅ)の下草刈り体験	
	大人のリーダーによる実演指導	長カマの使用方法を実演で指導し、正しい使い方を学ぶ 刃物カバーの意義を伝えるとともに、道具の管理や扱う上での注意点などを意識してもらう
		
1	森人(もりんちゅ)の木材加工体験	
	国有林の間伐材を使って、キーホルダーを作製する	木材の温もりを感じてもらい、手作りの楽しさを体験してもらう 全員が作品を仕上げるができるよう、また、怪我のないように注意する
		
1	森人(もりんちゅ)の参詣道ハイキング	
	「世界遺産・高野山」までの参詣道を歩く	高野山への参詣道の一つである『不動坂』を歩き、開創1200年の歴史と自然にふれてもらう
2	まとめ・発表	
	学校に帰って絵を描く	体験した内容を絵に描いてもらい、高野山駅及び極楽橋駅、南海高野線の車両に掲出する
(4) プログラムでの連携内容（①学校、②地域）		

(5) 活動の分析 (学習指導要領との関連または森林環境教育の視点) 上位3項目

5 管理	植樹したイロハモミジの育成のために下草刈りを実施し、樹木が育つのに必要な維持管理作業を学ぶことができる	
1 感情的	樹木や草花のある景色を眺めたり、川のせせらぎに耳を傾けたりして自然を体験することができる	
6 歴史	高野山への参詣道の一つである『不動坂』を歩き、高野山開創1200年の歴史にふれるきっかけをつくる	
教科	項目	学習内容
6年 社会	歴史や文化のかかわり	高野山の魅力は山内に建ち並ぶ寺社仏閣だけでなく、町を囲む緑深き森林も含めた紀(木)の国の歴史であることを認識する
5年 6年 道徳	自然環境を大切にする	自分自身が植樹し、維持管理しているイロハモミジを生涯にわたって見守ることで、自然環境保全の意識を高めるようにする
3～ 6年 総合	探求的な学習	「なぜ、空海が都から遠く離れたこの高野山の地に、真言密教の道場を開いたのか」に思いをはせる

(6) 活動の分析 (資質・能力の視点)

3 多目的	高野山の魅力は寺社仏閣だけでなく、周囲の森林も含めた紀(木)の国の全てであることを認識するきっかけとなる
----------	--

(7) 実施後、参加者の変化

--

豊かな森林へ！



世界遺産・高野山の玄関口

「極楽の森」をよみがえらせよう！



平成22年3月

極楽の森

極楽橋森林整備プロジェクト実行委員会

林野庁 和歌山森林管理署

「極楽橋」は、明治から昭和の初めにかけて、高野山へ登る表参道のひとつ「不動坂」として参詣客で賑わいました。現在は、ハイカーに人気の「世界遺産・高野山の玄関口」として、静かな佇まいが残っています。しかしながら、この極楽橋周辺は近年十分な手入れがされず、雑草やツルが生い茂り、自然環境が損なわれていました。そこで、世界遺産高野山の玄関口にふさわしい自然景観とするために、平成20年12月に「極楽橋森林整備プロジェクト実行委員会」を結成しました。平成21年4月からボランティアを募集して、草刈りやツル切りに加えて、かつての紅葉スポットを取り戻すためにモミジの苗木を200本植樹。紅葉の名所としてよみがえらせるとともに、高野山を訪れるお客さまに楽しんでいただけることを目指しています。

参加者
募集中



「極楽の森」の森づくりに参加しませんか？

実施時期／7月、9月（年に2～3回）

主な内容／下草刈り、ツル切り（1～2時間の作業です）

〔ボランティアに関する問い合わせ先〕

南海電気鉄道株式会社 営業促進部 ☎06-6644-7502

（極楽橋森林整備プロジェクト実行委員会事務局）

〔極楽橋森林整備プロジェクト実行委員会 関係団体〕

高野山真言宗総本山金剛峯寺、和歌山県伊都振興局、和歌山県高野町役場、森林組合こうや、高野「めざめ」の森づくり実行委員会、
仙人（そまびと）倶楽部、和歌山森林管理署、南海電気鉄道株式会社



誰でもできる！森づくり体験

高野山国有林の「極楽の森」を主な活動フィールドとして、世界遺産・高野山らしい森づくりを目指して様々な取り組みを行っています。皆さまも一緒に参加しませんか？



ポクポクできたよ！

植樹

平成 22 年 3 月にボランティアの皆さまとともに、モミジの苗木を約 200 本植樹しました。



初めての長鎌！

下草刈り

植樹したモミジの成長を妨げる雑草を除去します。これをしないとせっかく植えたモミジが枯れてしまいます。



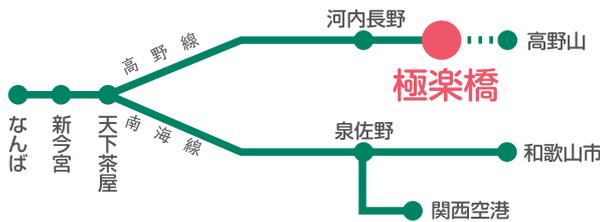
おだて、モミジの森！

整備前

平成 21 年 4 月から整備をはじめた「極楽の森」は約 5 年の年月をかけ、モミジは成長し、美しい景観となっています。

極楽の森までのアクセス

なんば駅から極楽橋駅まで急行で約 1 時間 40 分。極楽橋駅下車すぐ



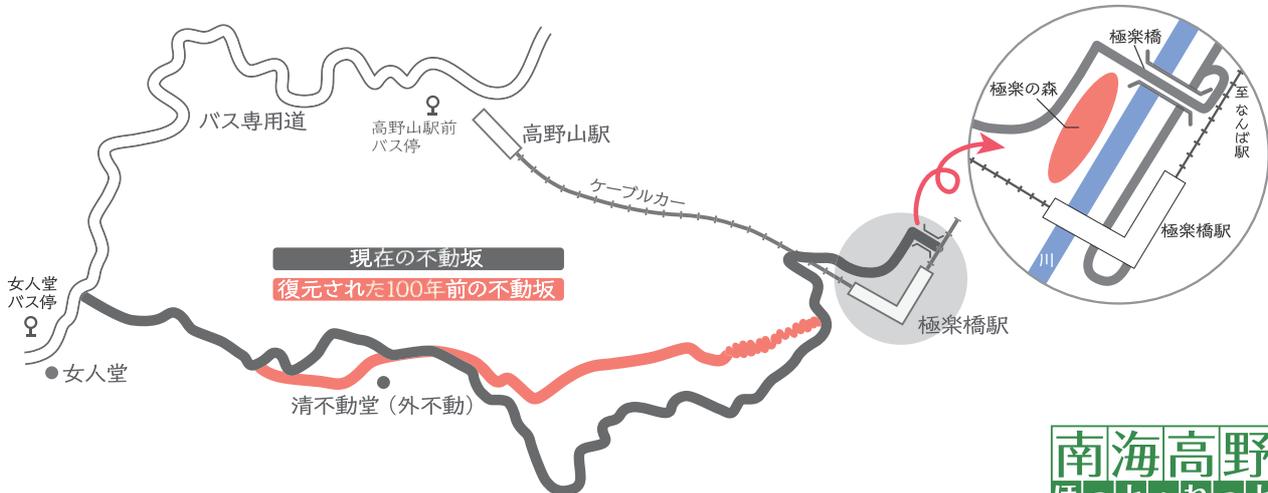
整備後



歩いてみよう！

不動坂道(京・大坂道)

極楽橋から女人堂までは、高野山への参詣道として「不動坂道」と呼ばれ、現在の不動坂道は大正時代に改修整備された道です。また、最後の難所であった「いろは坂」、「岩不動」や「稚児滝」など旧跡が多数ある復元された不動坂道(旧ルート)もあります。極楽橋から女人堂まで約 2.5 km を約 50 分で歩けるハイキングコースですので、ぜひ歩いてみて下さい。



当イベントの取組みに関する情報 ▶▶▶